

《 目 次 》

- 浸水ハザードマップの見方 1
- 普段から心がけておきましょう
 - ・ 避難場所を確認しましょう 2
 - ・ 避難場所の位置を確認しましょう 4
 - ・ 予想される水深を確認しましょう 4
 - ・ 避難ルートを記入しておきましょう 5
- 避難情報を確認しましょう
 - ・ 浸水時には市民の皆さんのために
いろいろな情報が出されます 6
 - ・ 郡山市からの情報伝達について 6
 - ・ 避難情報が出される河川水位について 7
 - ・ 河川水位や雨量情報を確認しましょう 7
- 車での避難に注意しましょう
 - ・ 避難の原則は徒歩です 8
 - ・ 車で避難するタイミング 8
 - ・ 地下道で浸水の恐れがある箇所に注意 9
 - ・ 車で避難できる避難場所 9
- 図面索引
 - 大雨による浸水索引 10
 - 洪水による浸水索引 11
- 図面抜粋 12～51
- 緊急時の連絡先 52
- 巻 末
- ～ わが家の防災メモ ～

浸水ハザードマップの見方

浸水ハザードマップは、

- ① 大雨により、一時的に道路側溝や下水道などから雨水があふれ、河川に排水出来ない場合の浸水区域
- ② 市内を流れる阿武隈川などの河川水位が上昇し、堤防からあふれたり堤防が壊れてはん濫した場合の浸水区域

これらによる浸水が予想される範囲とその深さおよび避難場所などを表示し、浸水時、市民の皆さんの避難に役に立つように作成したものです。

浸水の恐れがある場合には、浸水ハザードマップで示す収容避難場所に早めに避難してください。

大雨による浸水の場合 (内水はん濫)



下水道などの排水施設の能力を超えた場合
避難などの参考にしてください。

郡山駅前を中心に被害をもたらした、平成22年7月6日と同程度の雨が、市内全域に降った場合を想定し、郡山市が作成。

＜想定降雨＞
1時間最大雨量 74mm
(総雨量:101mm)

洪水による浸水の場合 (外水はん濫)



川の水が堤防を超えた場合
収容避難場所に避難してください。

国土交通省が作成した阿武隈川の浸水想定図(平成14年)、及び福島県が作成した逢瀬川等の浸水想定図をもとに作成。

＜想定降雨＞
阿武隈川:150年に1回程度発生する降雨
(2日間総雨量:257mm)



収容避難場所とは

避難者を安全に収容するための施設で、災害時における緊急的な支援が行える避難場所です。



緊急避難場所とは

収容避難場所への避難が間に合わない場合などの一時的な避難場所です。